

みんなの力で
地域を元気に！

地域を支える市民活動

☎記事について…広報統計課 ☎43-9317 ▷協働について…市民連携推進課 ☎43-9207

近年、社会情勢の変化を受け、地域が抱える問題は多様になり、行政のみでは解決が難しくなっています。そのような中で、さまざまな手法で、地域の課題解決に取り組む市民の皆さんが活躍しています。

市では、各種事業を通して、市民・事業者・行政などの主体がそれぞれの特性を生かして協力することにより、より良い効果を生み出す「協働のまちづくり」の推進に取り組んでいます。

市民活動の拠点「ふれあいセンターわいぐ」を開設しています

☎ふれあいセンターわいぐ ☎73-3311

市では、市民の皆さんが行う自主的・公益的な活動を支援するため、市民活動サポートセンター「ふれあいセンターわいぐ」を開設しています。

わいぐでは、市民活動やボランティアに関する相談を随時受け付けています。また、団体の紹介や、イベント・助成金などの情報提供も行っています。団体登録をすると、設備利用の他、団体で実施するイベント情報などを広く発信することができます。



根城八丁目8-155
はちふくプラザねじょう3階



ホームページ
はこちら

設備

情報交流サロン

▶ 打ち合わせスペース



▶ パソコン



▶ プリンター



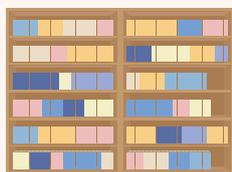
▶ ロッカー



▶ メールボックス



▶ 市民活動図書コーナー



▶ 大型モニター

▶ ファックス

▶ Free Wi-Fi

ワークステーション

- ▶ 印刷機
- ▶ 紙折り機
- ▶ ペーパーカッター

助成金情報コーナー

市民活動情報コーナー



市民活動相談

活動の悩みなんでも相談

パソコン・スマホ相談

情報誌の発行

市民活動ハンドブック

情報誌「WAIGU」

講座・交流

市民活動促進講座

わいぐ交流会

助成金制度があります

市民活動を支援する4つの助成金制度をご紹介します。団体の活動内容などに合わせたさまざまな制度がありますので、ぜひ活用をご検討ください。

01 「元気な八戸づくり」市民提案制度

まちづくりや地域課題解決のため、市民(提案者)と市(担当課)が協働して取り組むことにより、相乗効果が期待できる事業の提案を募集しています。



詳しくはこちら

自由提案部門

市民からの課題提起による事業提案を募集し、協議を経て、市と協働で実践します。

市設定テーマ部門

市の設定テーマに対する市民からの事業提案を募集し、協議を経て、市と協働で実践します。

02 「元気な八戸づくり」市民奨励金制度

市民活動団体・地域コミュニティ活動団体などが自主的に取り組む、公益性のあるまちづくり活動を支援します。



詳しくはこちら

初動期支援コース

- 対象** 設立から5年以内の団体
- 金額** 1団体につき20万円以内 (対象経費の100%)
- 回数** 1団体につき2回まで

若者支援コース

- 対象** 代表者・構成員の8割以上が40歳以下の団体
- 金額** 1団体につき20万円以内 (対象経費の100%)
- 回数** 1団体につき2回まで

まちづくり支援コース

- 金額** 1団体につき40万円以内 (対象経費の60~100%) ※過去の利用実績により、補助金額が異なります。
- 回数** 1事業につき3回まで

奨励金活用例①

健遊舎(初動期支援コース)

健遊舎は、6年度に発足した、地域住民の健康づくりを推進するコミュニティです。

7年度は、小学校で行っていた活動に加えて、スポーツ施設を活用したイベントを定期的に開催しました。体を動かす機会を増やすことで、子どもの健全な成長を支えています。



また、子どもだけでなく、保護者や地域の大人にとっても一緒に運動する仲間と出会うきっかけとなっています。



奨励金活用例②

高館地区連合町内会(まちづくり支援コース)

小学校の部活動が地域主導へ移行する中、連合町内会青年部が男女ミニバスケットボール部を運営することになりました。

これをきっかけに保護者と青年部の接点生まれ、ミニバスケットボール大会の運営を通して継続的に交流を深めています。



子育て世代である保護者が地域活動に参画するきっかけをつくり、地域コミュニティの活発化・活性化に取り組んでいます。



03 学生まちづくり助成金

地域貢献への意識醸成や地域活性化を図ることを目的に、学生が自主的に取り組む地域振興・地域貢献に関する活動の企画を公募し、選考の上、助成金を交付します。



金額 1事業につき20万円

※複数の市町村で実施する場合、上限24万円

04 八戸圏域高等学校地域活動促進事業助成金

郷土に愛着と誇りを持った、八戸圏域(八戸市・三戸町・五戸町・田子町・南部町・階上町・新郷村・おいらせ町)の将来を担う人材の育成を図ることを目的に、高校生が取り組む地域振興・地域課題解決に関する活動の企画を公募し、選考の上、助成金を交付します。



金額 1事業につき20万円

※圏域内町村の高校が活動する場合または市内の高校が町村でも活動する場合、24万円

学生&高校生 まちづくりコンペティションを開催しました

助成金を活用し、地域振興・地域貢献活動を行った団体が事業成果を発表する「学生&高校生まちづくりコンペティション」を2月14日(土)に美術館で開催しました。

交付校の中から最も地域に貢献したと認められ、市長賞を受賞した2団体にお話を伺いました。



詳しくはこちら

市長賞

▶ 学生の部 八戸学院大学短期大学部介護福祉学科「KAIGOきらめき隊★けっぱレンジャー」

活動内容

認知症について正しい知識を広めるため、イオンモール下田で2回、是川地区「ひまわり会」・鮫地区緑ヶ丘団地・南浜中学校でそれぞれ1回ずつ、計5回講座を開催しました。

講座内容

認知症の人への接し方を学ぶ寸劇、認知症の理解を深めるクイズ、認知症予防早口言葉・遅口言葉、認知症予防体操を実施し、参加者に認知症について楽しく学んでもらいました。



アンケート結果

参加者へのアンケートで、「認知症の本人が一番不安で困っていることが分かった」「認知症予防体操を両親や祖父母に教えたい」という回答をいただきました。

高齢者は認知症予防体操への関心が高まり、中学生はゲーム感覚で楽しみながら認知症についての理解を深めることができたようです。



市長賞受賞の感想は？

まさか受賞できるとは思っていなかったので、とても驚きました。自分たちの活動を評価していただけてうれしかったです。

特に力を入れた活動は？

オリジナルの認知症予防体操を考案したことです。どうしたら幅広い世代の人が楽しく体操できるか、認知症予防に効果が出るのかを考え、介護福祉学科全員で作りました。



この活動をする前後の自分の変化は？

以前は認知症の人に話しかける勇気がなかったのですが、認知症の人との関わり方を学んだことで、日常生活でも、認知症の人を見かけたときに声をかけられるようになりました。

今後の活動予定は？

後輩に引き継ぎます。小学校での出前講座や地域包括支援センターとの連携、SNSの活用による周知など、活動を広げていってほしいです。



市長賞

▶ 高校生の部 八戸水産高等学校「キレイ 鮫・海 大作戦4 ～森から海へのラブレター～」

活動内容

4年度から「鮫オーシャンサポーターズ」を結成して活動してきました。今年度の活動内容は、「海岸清掃・磯探検」「水質調査」「植樹」です。

海岸清掃・磯探検

7・8月に鮫地区で行いました。想像以上にたくさんのごみがあり、人が海を汚していることを実感しました。



水質調査

清掃に参加していた漁師から「鮫周辺の海域の水質が気になるので、調査してほしい」と依頼を受け、9・10月に3回、新井田川の河口・白銀岸壁・恵比須浜漁港の水質調査を行いました。

調査の結果、海水の塩分濃度が薄まっており、付近からの「湧水」の影響を受けているのではないかと考えました。海の水質を良くするためには、湧水の源流である森の美しさが不可欠であるという結論に至りました。

植樹

豊かな森づくりのためには植樹が必要だと考えましたが、植える木の種類や場所などが分からなかったため、八戸市森林組合に相談してみました。実際、土地の問題や周辺環境に適した植生とすることなど、考えなければならないことはたくさんありました。話し合った結果、今回水質調査をした地点の上流に当たる森林に、カラマツを植えることになりました。



植樹当日は、呼びかけにより、地域の皆さんや学生など30人に集まっていただきました。森林組合の協力の下、スコップで地面に穴を掘り、400本のカラマツの苗木を植えました。

今回の植樹によってすぐに海がきれいになるわけではありませんが、地域住民の意識・行動がこれからの八戸の海の豊かさを守っていくことにつながると思います。



特に力を入れた活動は？

今回の活動のタイトル「森から海へのラブレター」のとおり、海をきれいにするための環境づくりである植樹を頑張りました。

木を植えるのは初めてだったので、森林組合の皆さんには、スコップを貸し出してもらったり、植え方を教えてもらったりと、いろいろ助けていただきました。雨が降る中での作業で、時間がかかりましたが、今回植えたカラマツが立派に成長して、良質な湧水を海に届けられたらうれしいです。



助成金を活用して活動した感想は？

カラマツの苗木を購入する費用や、ご協力いただいた団体との打ち合わせをする際の交通費などに活用しました。学校単独で実施するより、幅広く活動を展開させることができたと感じています。

協働した感想は？

活動を通して、地域住民や大学生、漁師、森林組合など、いろいろな人との関わりがありました。地域の皆さんと共に考え、活動できたのは有意義なことだと思います。もっと多くの人に森と海のつながりを知ってもらい、関心を持ってもらいたいです。

SNSで情報発信しています

市民連携推進課では、SNSで協働のまちづくりや市民活動、イベントなどの情報を発信しています。ぜひフォローして、最新情報をご覧ください。



X



Instagram



Facebook

